

登録コード	L1431000	開講年度	2026				
担当教員	渡邊 綾			副担当			
授業科目	社会学基幹演習Ⅳ						
英文授業名	Socioogy: Basic Seminar Ⅳ						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生	2～4	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限
講義室	人文2 1 2 講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	学校知識に関する社会学・教育社会学の基本的な理論・概念を理解し、教育現象や教育問題を専門的・学術的に説明することができる。		
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	学校知識の構築過程について、関連する文献を整理・検討し、独自の視点から報告を行う。		
授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業では、『小学校英語のジレンマ』（寺沢拓敬，2020，岩波新書）『論理的思考とは何か』（渡邊雅子，2025，岩波新書）の2つのテキストの輪読とディスカッションを通じて、教育社会学のなかでも、特に学校知識の構築に対するさまざまな視角・視点を深く理解することを目指す。また、後半では2つのテキストの内容を、自身の視点から整理し、報告を行なうことを通じて、学校知識の構築過程に対する独自の視点を育成する。						
授業計画	第1回：イントロダクション 第2回：テキスト①-1 輪読とディスカッション 第3回：テキスト①-2 輪読とディスカッション 第4回：テキスト①-3 輪読とディスカッション 第5回：テキスト①-4 輪読とディスカッション 第6回：テキスト①-5 輪読とディスカッション 第7回：テキスト②-1 輪読とディスカッション 第8回：テキスト②-2 輪読とディスカッション 第9回：テキスト②-3 輪読とディスカッション 第10回：テキスト②-4 輪読とディスカッション 第11回：テキスト②-5 輪読とディスカッション 第12回：批判的検討・発表1 第13回：批判的検討・発表2 第14回：批判的検討・発表3 第15回：授業総括・授業アンケート実施 定期試験なし ※授業内容・順番は変更する場合がある。						
成績評価の方法	討論への参加と内容（30%），積極的な議論への参加（30%），発表内容における独自性（40%）から総合的に判断する。						
成績評価の基準	テキストの内容理解，積極的な議論への参加，発表内容におけるの3点から評価する。全ての点について十分な水準・成果に達していると判断された場合は『卓越している』と評価し、いくつかの点で特に優れていると判断された場合は、その程度に応じて『かなり上にある』『やや上にある』と評価し、総合的に一定の水準を満たしていると判断された場合は『その水準にある』と評価する。						
事前事後学習の内容	授業参加に先立ち、必ず事前に十分にテキストを読み込み、内容の理解に努めること。						
履修上の注意	毎回授業後に課題を提示し、課題提出をもって出席とする。 オンライン学習システムを通じて講義資料の配布を行うため、これらに対応したWebブラウザなどをインストールした端末及びインターネット環境が必要となる。 教科書の構成に沿って授業を進めるわけではなく、参照するために用いる。						
質問、相談への対応	e-ALPSの授業サイトから質問・相談を行うことができる。 また、対面での質問・相談を希望する場合は、個別にメールで連絡すること。						
教科書	寺沢拓敬，2020，『小学校英語のジレンマ』岩波新書。 渡邊雅子，2024，『論理的思考とは何か』岩波新書。						
参考書	木村元，2025，『学校の戦後史 新版』岩波新書。						